

岡歯会報



HEADLINE:

巻頭言

「間合」を考える

一般社団法人 岡山県歯科医師会 理事 野崎 真弘

< p 1 >

県歯報告Ⅰ

令和6年度中国・四国地区歯科医師会連合会連絡協議会

< p 3 >

県歯報告Ⅱ 令和6年度中国・四国地区歯科医学大会

< p 8 >

おかやま新発見 紹介します！ 私の地区のっておき♡

吉備歯科医師会

< p 26 >

2024

11

vol.934



一般社団法人 岡山県歯科医師会

目次

巻頭言 「間合」を考える…… 一般社団法人 岡山県歯科医師会 理事 野崎 真弘	1
彰 令和6年度中国・四国地区歯科医師会連合会	2
能登半島地震義援金（お願い）	2
県歯報告Ⅰ 令和6年度中国・四国地区歯科医師会連合会連絡協議会	3
県歯報告Ⅱ 令和6年度中国・四国地区歯科医学大会	8
県歯報告Ⅲ 岡山県四師会懇談会	11
県歯報告Ⅳ 30・40歳代限定企画「県歯役員との懇談会」開催！	12
理事会ダイジェスト	13
ホームページインデックス	17
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー（243）	18
10月の歯科界トピックス	19
社会保険部 第14回 社会保険部検討委員会報告	20
公衆衛生部 令和6年度 岡山県糖尿病医療連携医科歯科合同研修会	21
スペシャルオリンピックス	22
第35回 近畿・中国・四国口腔衛生学会	23
医療管理部 医療管理ニュース Vol.97	
ふるさと納税を活用して節税と地域貢献をしませんか？	24
厚生部 令和6年度 レクリエーション大会ご案内	25
年末年始の休館のお知らせ	25
おかやま新発見 紹介します！ 私の地区のっておき♡ 吉備歯科医師会	26
地区歯科医師会だより 津山市歯科医師会 令和6年度支部旅行（神戸、鳴門）	27
玉島歯科医師会 支部旅行	28
都窪歯科医師会 「つくば・お口の健康8020図画コンクール」	29
赤磐歯科医師会 親睦旅行	30
同好会だより 第34回 全日本歯科医師剣道優勝大会（団体戦）	31
リレー随筆 「50の手習」 井上 栄徳（岡山市歯科医師会）	32
学院のべえじ 第44回 戴帽式	33
新入会員紹介	34
訃報	34
会員異動	35
11月の収納金	35
9月 会の動き	36
11月・12月 本会の予定	37
11月・12月 地区歯科医師会の予定	38
こちら編集室	39

<https://www.oda8020.or.jp>

■題 字 小林 敏郎 先生

■表紙作品 「錦秋の大地獄谷」 岡山市歯科医師会 塩津 比佐夫 先生

大山鍵掛峠の手前に「健康の森」の入口があります。

駐車場から約1時間40分歩くと地獄谷に着きます。車の中で待機して雨があがるのを待って行って来ました。その後数年通いましたが、この時ほどの紅葉には巡り合えませんでした。

中央に見えるのは最近新装された「駒鳥避難小屋」です。



「間合」を考える

一般社団法人 岡山県歯科医師会

理事 野崎 真弘

医療管理部担当理事を拝命して一年半になろうとしています。改めて会員や社会に対する責任の重さを痛感し、その責務を果たすため悩みながらも日々努めています。医療管理部は西岡会長が就任時に掲げた「経営基盤の安定と診療環境の整備」、「県民への歯科保健活動と公衆衛生活動」、「歯科衛生士のスキルアップと人材の確保」、「ICTの活用」の4つの重点目標のうち2つを担う部署でもあります。

「経営基盤の安定と診療環境の整備」については、会員と患者間のトラブルの防止に向けての対策として会員から法律事務所に直接相談できる『リアルタイム法律相談窓口』を開設しました。また、社会保険労務士と顧問契約を結び、労務管理や法令遵守の助言を受けることができると共に労務トラブルの未然防止や迅速な対応が可能になりました。

「歯科衛生士のスキルアップと人材の確保」については、前期からのDHスキルアップセミナーやDHベーシックコースを継続し、今期は新たに離職中の歯科衛生士に特化した『復職マッチングサイト』を立ち上げ、人材確保に取り組んでいます。

多くの皆様のご協力で、ここまで活動を進めることができましたが、まだ目標に掲げながら実現できていないこともありますので、引き続き会員の先生方のご意見やご指導を賜りながら、着実に進めてまいりたいと存じます。

先日、大学の剣道部のOB会があり、久しぶりに苦楽を共にした仲間たちと再会しました。小学校に入学して間もなく防具を付け始め、中学・高校・大学、そして卒業してからもスポーツ少年団の子供たちの指導に携わっていた時もありました。それから長らく遠ざかっていましたが、再び向き合う機会を得て長年にわたり私の中に培われてきた武道の精神を感じると共に自分の根幹には剣道が大きく関わっていることを改めて実感しました。

剣道を通じて学んだ多くの教訓の一つに「間合（まあい）」があります。「間合」とは、相手との距離を測ることにより、攻撃や防御のタイミングを見極めるための非常に重要な概念です。適切な「間合」を保ちながら相手の動きを観察し、適切なタイミングで瞬時に決断します。剣道ではそれを正確にコントロールすることが大切です。その「間合」を考えることで、歯科医師会の会務においても会員間の信頼関係や尊重の精神を維持しながら、スムーズな意思疎通や円滑なコミュニケーションが可能になります。また、会員のニーズに迅速に対応するための柔軟性が向上します。これからも「間合」の考えを活かし、会員の先生方そして社会により一層貢献できるよう会務に努めてまいります。

令和6年度中国・四国地区歯科医師会連合会

会長表彰

笠岡・小田歯科医師会 山本一人先生

笠岡・小田歯科医師会 中西史彦先生

高梁歯科医師会 池田恵子先生

御津歯科医師会 石井雅之先生

<受賞者名簿順>

10月5日(土)令和6年度中国・四国地区歯科医師会連合会表彰式典に於いて、
上記4名の先生方が「会長表彰」を受賞されました。
この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げます。

能登半島地震義援金（お願い）

今年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」からわずか9か月も経たないうちに、再び、同じ地域で過酷な豪雨災害が発生し被害が拡大しました。被災者の方々は度重なる被害に先の見えない不安に苛まれ、不自由な生活を強いられています。岡山県歯科医師会は被害に遭われた方々に寄り添いたいと思います。

つきましては、各医療機関窓口にて設置頂いております「令和6年能登半島地震募金箱」に集まった義援金について、来年2月に1回目の集計をいたします。12月に送付する手帳やカレンダー等といっしょに同封している“口座振替用紙”にてご送金いただくか、事務局までご持参いただけますと幸甚です。

今後も末永く支援を続けて参りますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年度中国・四国地区歯科医師会連合会連絡協議会



開会行事

令和6年10月5日(土)、山口市の“かめ福オンプレイス”と“山口県歯科医師会館”において、中国・四国9県の150名を超える歯科医師会関係者が集まり、標記連合会の役員連絡協議会と各部分科会が開催されました。それに先立って、それぞれの会場をWebでつなぎ、全員出席の開会行事が行われました。

開催地の山口県歯科医師会 小山茂幸会長は挨拶の中で、「国民の歯科保健活動の充実と歯科医院経営の安定は欠くことのできないもので、バランスをとりながら国民に納得、理解してもらうことが大切。そのひとつとして医療DXの本質を見極め、うまく活用していくことが必要で、医療DXに限らずたくさんの知恵を出し合い、実りある協議会にしていきたい」と述べられました。

続いて来賓挨拶に移り、日本歯科医師会 高橋英登会長は、トリプル改定においてプラス改定を実現したことやタスクチームを設置してキャッシュレス決済、国民皆歯科検診、会員増強に取り組んでいることなどの実績を強調され、「医療DXなどの時代の変化に対応して、歯科界をより強固なものにしたい」と決意を述べられました。次に日本歯科医師連盟 太田謙司会長は、選挙とロビー活動の重要性を熱く語られ、「歯科議連312名の安泰は安定した医院経営には欠かせない。ぜひ協力をお願いしたい」と訴えられました。

その後、比嘉奈津美、山田 宏両参議院議員がそれぞれビデオメッセージにて力強く抱負と決意を会場に届けられました。

そして、日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の会務報告があり、やや時間超過となった開会行事が終わりました。

これまで多くの連合会行事に参加してきましたが、これ程大規模な催しはありませんでした。“中国・四国をひとつに”という山口県歯科医師会の熱意と努力に感銘を受けました。惜しむらくは、時間超過のためその後の協議会の時間が短くなり支障が出たこと、いろいろな選挙を控えていたためか、やや政治色が強くなったことが印象に残った点でした。
(常務理事 中村慶男)

役員連絡協議会

開会行事終了後、各県三役が出席して役員連絡協議会が開催され、「医療DXの進捗状況について」「災害医療コーディネーターについて」の2題の協議と、日歯への要望について意見交換がなされました。



「医療DXの進捗状況について」は各県ともマイナ保険証の使用率、電子処方箋、電子カルテのいずれも普及は停滞している中、拙速で強引ともいえる施策に対し戸惑いと憤りの意見がだされ、「日歯としても現状に満足しているわけではなく、引き続き国に対し働きかけを続けていく」との回答がありました。

今般の能登半島地震で改めてその重要性が浮き彫りになった「災害医療コーディネーターについて」の協議では、各県歯科医師会共、コーディネートができる人材の育成が急務であると共に、「都道府県、市町村行政に対しJDATの存在を周知の上、それぞれの防災会議・本部に係われなければその機能は発揮できない」とし、今後更なる行政機関との連携構築の必要性が示唆されました。

最後に2題の協議内容の今後の対応につき日歯へ要望がなされ閉会となりました。

(専務理事 南 哲之介)

広報分科会

中国・四国9県の広報担当者と日本歯科医師会 伊藤明彦常務理事が一堂に会し、5つの協議題について活発な意見交換が行われました。特に、高知県が強力に推進している会報のペーパーレス化や、愛媛県と鳥取県が取り組んでいるオリジナルアプリによる情報伝達や安否確認については、各県かなり興味を抱き盛り上がりました。また、岡山県のLINE WORKSによるセキュリティの高い伝達方式はとても好評を得ました。日歯からは、「年2回発行している広報誌を1回にして、最新の情報はWeb上で」とか「日歯ホームページを拡充して、各県がぶら下がり的なホームページにすれば、単独のホームページ運営よりもかなりの経費削減になるのでは」とかの問いかけもありました。また、将来的には国民皆歯科健診のツールとして使いたいのので、会員情報登録をぜひ推進していただきたい」とのお願いも受けました。



“デジタル化”という時代の潮流は広報においては特に顕著で、今後の在り方を考えさせられた有意義な協議会でした。(常務理事 中村慶男)

学術分科会

学術分科会は山口県歯科医師会館で、山口県歯科医師会木村学術部理事が座長を務め、日本歯科医師会報告と協議が行われました。7つの協議題のうち時間の関係で、4番目岡山県提出の「他県実施の研修会参加の対応・情報共有について」のみ意見交換がなされました。様々な各県の事情と対応が述べられましたが、学術関係及び事務局のレベルでの情報共有は有用であろうという共通認識と同意が得られました。残りの協議題については、事前に提出された各県からの回答をもって終了となりました。中国・四国地区から多くの学術担当者が集まった久しぶりの機会でありましたが、協議する時間が十分ではなかったことが大変残念でした。(常務理事 清水裕雄)



社会保険分科会

日歯より小野沢真一理事を迎え、当番県の山口県歯科医師会 上田真三常務理事の座長のもと開催されました。小野沢理事は挨拶の中で今年度診療報酬改定を振り返り、将来を見据えた改定で医療DXに会員が遅れないようにしていくことの重要性を改めて説明され、「歯科医師会がしっかりサポートすること、そのためには社保担当者が役割を果たして欲しい」と述べられました。続いて協議では、各県の指導の現状、今年度の診療報酬改定についての伝達方法、特にベースアップ評価料の施設基準の届出率向上のための取り組みについて情報交換を行いました。また、改定で生じた問題点として情報通信機器に関わる算定要件、口腔機能低下症の検査の取り扱い、CAD/CAM冠の適用拡大の要件に係わる解釈などの議論を行いました。中国・四国地区の社会保険担当者が意見交換する場が最近ではなかったので、1時間弱という短時間ではありましたが貴重な機会となりました。(理事 後藤弘幸)



地域保健分科会

本会から黒木常務理事と土肥が出席しました。協議時間が限られていたこともあり、「各県の災害活動」に焦点を絞った協議が行われ、各県のJDAT活動や災害対策の組織づくり、行政や他組織との連携についての現状と課題の報告がありました。報告では、「発災時に県歯科医師会と地区歯科医師会が円滑に連携できるよう、平常時から地区担当者を含めた研修会を実施することが非常に



重要である」との指摘がありました。また、「行政との連携が不十分であると、発災後に行政から歯科医師会への依頼が無く、結果的に歯科医師会が単独で支援活動を行うことになり、行政から必要な支援が得られない」という問題も報告されました。日本歯科医師会からは、「国内のJDATの認知拡大と行政や災害対応チームとの平常時からの連携強化が重要であり、有事の際には国の保健医療支援政策に組み込まれるよう対応していく」との発言がありました。(理事 土肥範勝)

医療管理分科会

主にサイバーセキュリティ対策について各県の現状や取り組みについて協議が行われました。オンライン資格確認の義務化をはじめとした昨今の医療機関でのDXの進展に伴い、情報漏洩やサイバー攻撃のリスクへの対応も避けて通れない課題となっています。昨年4月からはサイバーセキュリティ対策チェックリストに基づく環境整備も義務化されている中で、国が示す内容は一個人開業医が対応するにはあまりにハードルが高く非現実的なものとなっています。ただ、実際にサイバー攻撃を受けてしまうとその損害も非常に大きなものになってしまうため、各県の担当者はそれぞれ苦慮しながらも資料整備や具体的な対策に乗り出しており、これらを9県で情報共有しながら少しでも会員の先生に分かりやすく有用な対策ができるよう協力して進めていくことで意見が一致しました。今後は多方面での情報交換を継続し、より効率良く会務が進められるよう意思統一が図れたことは大きな成果と考えます。(理事 本多浩三)



福祉厚生分科会

冒頭、日歯から人生100年時代に向けての「正しい老後資金の増やし方」として、終身年金の歯科医師国民年金基金について説明がありました。

分科会の協議題は3題

① 厚生部文化事業イベント企画について

各県ソフトボール、ゴルフ、テニス等のスポーツ、またマジックショー、落語、地元由縁の住みます芸人・ミュージシャンなどを招いての懇親会、ユニークなところでは地引網といった企画の実施報告がありました。

② 福祉共済制度の概要、今後の見通し

各県、死亡給付金重視・入院共済金をメインにした共済と内容は様々、高齢化による支出増、新入会会員の減少による収入減等、支出が収入を上回る年もあるとの事で制度見直しを検討している県が多かったです。資産運用先としては国債を利用。

③ 若手歯科医師活躍推進

鳥取県ではほとんど未入会者はいないとの事。また入会促進の為、卒後研修中の先生向けに研修中



は会費無料等の優遇制度を盛り込んだ会員種別を設けている県もありました。 (理事 北山 仁)

連盟分科会

来賓として日歯連盟より太田 謙司会長、浦田 健二理事長、樋口 壽一郎常任監事をお迎えして、中国・四国地区の各県からは副会長、理事長、副理事長が参加し、連合会としては初めての連盟分科会が開催されました。太田日歯連盟会長からは「中国と四国は瀬戸内海が隔てているが、時間はかかってもこれを埋め立てて一体となり日歯連盟の強力なブロックとなってもらいたい」とのご挨拶を頂きました。



続いて協議に移り、「ひがなつみ後援会」への入会者数の現状と入会への促進策について各県からの報告や意見が出され、それについて浦田日歯連盟理事長も交えて活発な議論が行われました。時間の都合上、すべての協議事項について協議することはできませんでしたが、この連合会に参加して、各県の連盟役員の先生方と直に顔を突き合わせて意見を交わせたことは、今後の中国・四国地区の連盟活動強化にも繋がる意義あるものであったと思われました。 (理事長 清水公雄)

表彰式

各協議会終了後、中国・四国地区歯科医師会連合会会長表彰式が開催され、地域医療に長年に亘り貢献、尽力された33名の先生方に表彰状と記念品が贈呈されました。



先生方に対し、小山茂幸連合会会長からは「環境が厳しくなる中、地域医療に尽力された功績は多大」、高橋英登日歯会長からは「歯科界の発展には先生方が取り組んでい

ただいている地域医療の充実は欠かせない。感謝しかない」との深謝の言葉が送られました。

岡山県からは、山本一人先生（笠岡・小田歯科医師会）、中西史彦先生（笠岡・小田歯科医師会）、池田恵子先生（高梁歯科医師会）、石井雅之先生（御津歯科医師会）の4名の先生が晴れの栄誉を受けられました。 (常務理事 中村慶男)

令和6年度中国・四国地区歯科医学大会



令和6年10月6日(日)山口県歯科医師会館にて令和6年度中国・四国地区歯科医学大会が行われ、4演題の講演が行われた。以下講演の概要を報告します。

<第1講演 インプラントトラブルのリカバリー>

九州歯科大学 名誉教授 細川隆司



「インプラントトラブルのリカバリー」の演題で九州歯科大学名誉教授 細川隆司先生が講演された。まず人工物を埋入する点においてインプラントと人工股関節を比較され、医科の人工股関節置換術には経時的トラブルが織り込まれており、その診療姿勢は参考に値し、参考にすべきだとされた。

そして必要に応じて撤去し、次なる手段をとるという考え方へのパラダイムシフトが必要だと話をされた。

各論ではインプラントの形態に関するトラブルとして、抜歯即時埋入、即時荷重を目指した製品に関わるトラブル事例および開閉口に伴う下顎骨の変形が引き起こす締結ネジの破断について解説された。

次に糖尿病とインプラントに関して解説があった。生存率をパラメーターとした場合、健常者と糖尿病患者の間の有意差は無いものの歯周病学的パラメーター（BOPなど）は有意差があり、リスクファクターであるとされた。10年後には生存率も差が出てくるであろうと解説された。

またビタミンK、Dの不足など栄養状態が骨代謝に悪影響を及ぼすことから骨代謝のパラメーター診断を大学では取り入れ始めたとのことであった。

最後にインプラントの撤去に関して自身の症例で解説され、講演を締めくくられた。

(委員長 森田巨樹)

<第2講演 顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー 2023改訂のポイント>



兵庫医科大学 医学部歯科口腔外科学講座 主任教授 岸本裕充

顎骨壊死検討委員会により2023年にポジションペーパーが7年ぶりに改訂され、重要な変更点のポイントが報告された。

骨粗鬆症等の治療薬（ビスホスホネート：BP）に対する顎骨壊死は薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）と呼称されるようになり、骨粗鬆症による脆弱性骨折を“骨卒中”と使用するよう提唱された。診断基準の変更として、病変に瘻孔が存在している症例（8週以上）もMRONJと診断することが追加された。

我が国のMRONJ患者は依然として増加しており、発症頻度は米国の約10倍になるそうだ。薬剤・容量別にみた発症頻度は、BP内服による発症の方が注射薬使用による発症よりも多く、低用量BP（骨粗鬆症薬）の発症は高容量BP（がんの骨病変抑制薬）を上回っているとのことであった。

今回の改訂で拔牙よりも拔牙の原因となる感染性歯科疾患が存在していることを重視するようになり、拔牙をせず、感染が持続することの方がリスクであると変わった。また、原則として拔牙時に骨吸収抑制薬（ARA）を予防的に休薬しないことが提案されるようになり、MRONJに対する治療も手術の優先度が高まったそうである。

最後に、「医科歯科連携」だけでなく、薬剤師を交えた「医歯薬連携」の充実を目指すことが強調された。原則として骨粗鬆症治療を開始する患者は全例を歯科スクリーニングの対象とすることが提案されていた。感染症リスクの歯があるかどうかの検査・診断をし、口腔衛生状態の向上を図り、ARA投与の必要性を理解することがかかりつけ医として求められている、として講演を終了した。

（副委員長 北原和樹）

<第3講演 これからの歯科治療におけるデジタル化を考える>



サクラパーク野本歯科 院長 野本秀材

現在、世界の歯科界ではデジタル化がスタンダードになろうとしている。本講演では、歯科補綴治療の多くの工程でデジタル化が可能であることを提示された。今後の歯科技工士不足に伴い、歯科技工のデジタル化による効率化は重要なことで、インプラント治療のデジタルワークフロー、ジルコニア補綴から義歯治療などの症例を提示され、DX化がもたらす有用性について解説された。以下講演要旨を記する。

①社会のデジタル化とIOS (intraoral scanner) による変革

デジタルデータがもたらすメリットとして以下を挙げられた。

- ・感染拡大の阻止
- ・石膏，印象材不要
- ・医療廃棄物の減少，社会的役割
- ・物流の軽減
- ・データの保存・応用
- ・3Dプリントの応用
- ・補綴装置の設計・製作

②ジルコニア補綴とIOSによる変遷

間接法と直接法によるCAD/CAM冠の精度を比較し、直接法で製作した補綴が無調整で装着できたことを報告。間接法によるテクニカルエラー（印象再得，石膏硬化時の歪みなど）の防止につながる。

③診断から補綴装置完成までのデジタルワークフロー

ジルコニアは従来の工程で製作することができないCAD/CAM冠で、デジタルデータを用いて製作される補綴装置であり、従来のアナログ手法からデジタル手法へのパラダイムシフトの旗手である。

④デジタルワークフローの未来

今後、口腔内スキャナーが保険診療に収載されると、歯科技工のデジタル化が加速し、導入は必須である。演者は元々歯科技工士として働いており、歯科医師となって開業してからも技工作業を自身でされてきたそうで、その視点から、現在の歯科技工学生について入学者も少ないし、質も落ちていると感じられるようだ。今後、技工士不足に伴い、デジタルによる効率化がさらに加速していくであろうと解説され講演を終えられた。

(副委員長 平松之典)

<第4講演 咬合学の変遷 EVOLUTION OF OCCLUSION>

錦織歯科医院 院長 錦織 淳



講演はまず咬合学の歴史から始まった。咬合の概念は無歯顎患者の義歯による咬合再構成のための補綴学的必要性から始まり、1858年Bonwillが咬合に関する幾何学、機能的法則を発表、いわゆるBonwill三角を提唱したのが始まりと言える。

1899年SnowがFace-bowを発明、1910年Gysiが咬合器を発明と続き、1929年機能主義派（Pannkeyグループ）が総義歯と天然歯列は同じと考えてはいけないと咬合を考え始め、1936年カリフォルニアナソロジー学会が設立。その後さまざまな咬合器が開発されながら今日に至ると概説された。

中心位は過去様々な学派により異なった考え方がなされた。最新の考え方では2017年“歯牙接触に依存しない、下顎顎頭が関節斜面に対し前上方に位置する上下顎関係で、その下顎運動は純粹回転運動によって識別できる。そのストレスがかからない生理的な上下顎関係から、上下方、側方、前方運動ができる。臨床的に便利で再現性のある基準の位置”となっているようだ。

次に咬合の分類を解説され、1. 理論的理想咬合 2. 生理的咬合 3. 非生理的咬合 4. 治療咬合に分類されるとされ、3. の非生理的咬合が要治療となるとのことであった。

そして有歯顎患者で達成すべき咬合安定の条件は 1. 歯牙接触関係は、荷重が同時同圧で歯軸に平行にかかるか歯牙移動を起こさない生理的許容範囲内である 2. 適切な咬合高径 3. 下顎位は最大咬頭嵌合位と中心位での歯牙接触を一致させ生理的範囲内にとどめる 4. 咬頭嵌合時臼歯が主として咬合力を支持し、前歯は軽く接触する 5. 下顎側方運動に際しては前方運動群が接触滑走し臼歯部は離開する 6. 下顎運動に際しては作業側歯牙が犬歯単独又は複数で接触滑走し非作業側歯牙は離開する 7. 顎関節症状がないことと解説された。

(副委員長 居樹秀明)

岡山県四師会懇談会



令和6年10月9日(水)18時30分より岡山プラザホテルにて、標記懇談会が岡山県看護協会の主催で行われました。今回は全体協議という形ではなく、各テーブルごとの協議・懇談と会場全体での親睦を主眼に進められました。

挨拶（要旨）

1. 岡山県看護協会 二宮一枝 会長

年1回の懇談会ではあるが、四師会が親睦を深め強い絆に結ばれることは、医療界の発展に欠かせない。

2. 岡山県医師会 松山正春 会長

コロナのレガシーを発展させるため、クラスター対策として感染症に長ける人材を育成・確保するとともに、県や大学と協力して情報ツールも拡充していく所存。また、これからの選挙においてもご協力を仰ぎたい。

3. 岡山県歯科医師会 西岡宏樹 会長

障害者歯科診療の拡充は、岡山県の医療にとって大切なこと。口腔保健センターの設立、受け入れ体制確立のため、さまざまな側面からのご支援をお願いしたい。

4. 岡山県薬剤師会 伊達元英 会長

Amazonファーマシーなど医療DXは急速に拡大しており、大企業による参入も進む中、時代の流れにしっかり対応し、地域貢献を柱として頑張っていきたい。



各テーブルにおいては、医療DX、キャッシュレス決済、情報共有などさまざまな意見交換が行われました。また、各団体からとっておきの催し物が披露され、会場全体が一体となって大いに盛り上がり、親睦を深めた有意義な懇談会となりました。

（常務理事 中村慶男）

30・40歳代限定企画「県歯役員との懇談会」開催！

令和6年9月21日(土)19時より標記懇談会が開催されました。30・40歳代限定企画ということで、これまでにない全く新しい取り組みでしたが、募集定員30名に対して26名の若手会員にご参加いただき、活況な会となりました。

この企画は、西岡会長をはじめとする県歯三役と日頃接する機会のほとんどない若手会員の先生方に、膝を突き合わせ直接対話する機会を設けることで、三役には若手の声を届け、若手会員には県歯の考えや想いを感じてもらい、互いの距離を縮めていくことでより良い岡山県歯科医師会を創っていくことを目的に企画・設営されました。参加者は3グループに分かれ、各テーブルに三役とそれぞれのグループをアテンドする役員が順番に回りながらトークテーマ ①県歯科医師会について ②県歯連盟について ③これからの歯科医師会について、に沿ってフリートーク形式で意見交換を行いました。開始と同時に各テーブルから次々に声が上がリ予定時間を過ぎても話が尽きない盛り上がりとなり、当初の目的を達成できたのではないかと感じております。

以下に、参加者アンケートの抜粋を掲載いたします。

- ・若手にとって役員との先生と話す機会は減多になく貴重な機会となり良かった。
- ・同年代が集まることで気軽に交流できた。一度で終わらず継続すれば意味のある企画になるのではないかと思う。
- ・もう少し少人数で深く話ができればもっと良かったと思う。
- ・次回開催されるのであれば、周りを誘って再び参加したい。
- ・若手と執行部では「会・連盟に対する思い」にかなり温度差があると感じた。今後もこのような機会があれば若手はもっと団結する事の意義が理解できると思う。
- ・今後もっと若手が参加し易い企画を考えてもらいたい。
- ・自分の意見を話すことができとても満足している。
- ・非常に有意義な時間でした！
- ・新入会員を対象に毎年開催した方が良いのでは？



この他にも多くのご意見や感想を寄せていただきました。私たち企画運営側としてはいくつか課題があったものの、概ね当初の目的が達成できたのではないかと安堵しています。また、執行部と会員の先生方が直接対話することの大切さを改めて実感する良い機会となりました。今後も積極的に新しい試みにチャレンジするとともに、既存の事業や会議においても、一つひとつ丁寧かつ謙虚にお伝えしていくことが重要であると感じております。

今回ご参加いただきました先生方に心より感謝を申し上げます。

(理事 本多浩三)

第58回理事会

令和6年9月19日(木)

会長挨拶 (要旨)

中規模歯科医師会連合会に出席してきました。この会は私が上京して出席する会の中で一番得るものがある会だと感じます。皆が同じ方向を向いているというわけでもないのですが、各県の質問に対して、お互いが自分達の県での対応を資料にまとめて全て出し惜しみなく教え合う。それゆえに我々も気付かされることがとても多い会です。自分達が今取り掛かろうとしていることを先送りにするのではなく、積極性・主体性を持って進めていかなければならないと改めて自戒して帰って参りました。

本日のトピックス

【本会】

- ・ 第39回中規模県歯科医師会連合会協議会

- ・ 巡回診療車について

公的機関であれば巡回診療車を医療機関として登録・レセプト請求ができる。災害時の運用は期待されるが、無歯科医村、過疎地への巡回は運用困難と思われる。

- ・ 口管強の施設基準の届出状況について

全国での届出状況は21.3%、岡山県は32.2%で全国7位。1位は長崎県で37.1%。

- ・ 「すごいよみんなの歯」

反響があり、特に新潟県から好評を得た。 (南専務理事)

【社会保険部】

- ・ 「訪問歯科診療と介護保険請求に関する冊子」作成中、近日中に会員へ送付予定。(後藤理事)

【国保報告】

- ・ 「緊急薬品」の斡旋について

「緊急薬品」の使用期限が11月末で切れるため、歯科医師国保1種組合員・後期高齢組合員へ無料で配布を行う。歯科医師国保未加入の約80名へは購入の意思確認を本会から行う。

(南専務理事)

取材を終えて

(広報部 委員 粕山健太)

今回の理事会では中規模歯科医師会連合会協議会の報告が主要な内容だった。普段あまり聞く機会がない診療巡回車の他県での活用法などを聞くことができ、興味深かった。緊急薬品も消費期限が切れる前に配布されるとのことで、期限を気にせず医院へ備蓄しておくことができる歯科医師国保1種組合員であることの優位性を再確認した。

理事雑感

(石戸副会長)

昨日、東京にて第39回中規模県歯科医師会連合会会議が開催され出席してきた。

この会議は会員数が同規模の歯科医師会が参画し、抱えている問題点や悩み、迷い等が共有できる協議題が多く、非常に有意義な会議の一つだと感じている。各県が協議題に対する回答資料を真剣に提出してくれることで、本会として新しい発見や反省点に気付かされ、物事を先

送りせず積極的に取り組む姿勢が求められていることも再認識した。

今後もこの会議を通じて、各県が連携し歴史を学び、本会の未来がより良い方向へ向かうことを期待し、会員の皆様のご意見をいただきながら、本会会務運営がスムーズな執行となるように、引続き努力をさせていただきたいと感じている。

第59回理事会

令和6年9月26日(木)

会長挨拶 (要旨)

これから残り9か月、決して慢心することなく弛むことなく目的に向かって突っ走っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

本日のトピックス

【本会】

- ・ 本会学院連絡協議会

学生募集の広報活動のひとつとして本会会館の1階に学院周知のためのデジタルサイネージの設置を検討。岡山駅などについても費用対効果を考慮し継続審議。 (南専務理事)

- ・ 30・40歳代限定企画「県歯役員との懇談会」

定員30名に対し26名の参加。内容についても好評で、地道な親睦活動が大切であると思われた。今後もいろいろな形での事業開催を検討予定。 (本多理事)

【広報部】

- ・ 「すごいよ！みんなの歯2」作成中

11月8日(金) 「いい歯の日」に発刊予定。

11月21日(木) 「すごいよ！みんなの歯」優秀動画表彰式と「すごいよ！みんなの歯2」3,000冊の県歯への贈呈式を県歯会館にて開催予定。プレスリリースにより放送局・新聞社への取材を依頼。 (中村常務理事)

取材を終えて

(広報部 委員 蟲明 徹)

30・40歳代限定企画「県歯役員との懇談会」に参加された先生方から、「会報の理事会の記事はほとんど読まない。その理由は内容がよく理解できないから」という話があったそうです。「会報をしっかりと読んでいただくにはどうすればよいのか？」考えていきたいと思っています。

理事雑感

(黒木常務理事)

現在策定中である「大規模災害時業務継続計画」は、基本的に「南海トラフ地震」の被害を想定してのものである。災害対策本部の立ち上げから会員安否確認、LINE WORKSやZoom会議等の緊急時連絡方法、緊急通行車両の申請などを計画している。一番苦慮しているところは学院学生の帰宅困難者の対応についてである。大災害発生時に徒歩で帰宅することが可能な距離かなど学生にもアンケート実施したが、大災害時の道路状況等によってその数も大きく変わる可能性がある。学生帰宅困難者、事務局、対策本部人員などの食料等必要物資、停電の際の

電力確保、水洗トイレ、また、歯科医療救護、歯科保健活動、検死などについても西日本豪雨災害での真備での活動、また能登半島地震でのJDAT活動を参考としてそれぞれ必要物品をリストアップしている。しかし、ある程度の量になるため備蓄のためのスペースの確保に苦慮している。10月5日(土)に開催される中国・四国役員連絡協議会の地域保健部会にて「災害に対する各県の対応」について協議される予定であるため、他県の対応を参考により緻密なものにしていきたい。

第60回理事会

令和6年10月3日(木)

会長挨拶 (要旨)

総裁選の結果もさることながら、新総理の変わり身の早さ、信念の脆さには驚きました。

総裁選では「政策を訴え、しっかり議論し、国民に判断材料を与えた上で審判を仰ぐ」と言っていたはずですが。それが早々の解散総選挙。期待が薄まらないうちに解散して総選挙をやっしまえという、なにごとにも煙に巻いてしまう自民党の悪習そのもののような気がしてなりません。保険証の廃止に関しても「納得しない国民が多いのであれば併用も選択肢として当然だ」と言っていたにも関わらず、新内閣発足当日に「保険証廃止の堅持」を表明。公言したことを端から反故にする、こんなことでは大変心許ない。「巧言令色鮮し仁」という言葉が頭を過りました。

本日のトピックス

【本会】

- ・ BCPはまだまだ補足しなければいけないことはあるものの、ほぼ形になった。
- ・ 機構改変については、来年3月の代議員会に向けて、部会の名称変更、廃止、役割の委譲などの目星は立ったが、危機管理を担う部署の位置付けについてはその役割や名称等も含めてもう少し検討の余地がある。(南専務理事)

【社会保険部】

- ・ 厚生労働省と日本歯科医師会の共催で、令和6年度社会保険指導者研修会が開催され、「医薬連携の現状と医療DX時代を見越した連携のあるべき姿とは」という内容で研修を受けてきた。また1窓口当たり稼働点数（医療保険と国民健康保険の合計）として岡山県は全国4位という結果であった。(田頭常務理事・佐伯理事)
- ・ 令和6年度10月 保険医療関係機関連絡会議において、10月から始まった長期収載品の選定療養に関してトラブル等の情報交換を行った。歯科はレセコンの摘要記載で対応できる。またキャッシュレス決済の現状として医科は支払ベースで約8%、薬科では65%がキャッシュレス対応、歯科では状況を見ながら徐々に進んで行く見込み。また、特定健診の受診データから保険診療の初診料が再審査となるトラブルについて報告があった。(後藤理事)

取材を終えて

(広報部 副委員長 杉山真一)

西岡執行部の二期目も残すところ9か月となり、発足当初から取り組んできた機構改変の形がほぼ

見えてきた。そんな中、今回の理事会では危機管理を担う部署の名称と位置づけが議論されたが結論は出なかった。機構図に書かれている代議員会、理事会、部会、委員会、地区歯科医師会や外郭組織などの位置や相関の理由を知ること、なんの面白みもないと思っていた機構図が違ったものに見えてきた。しかし機構図からだけではそれらの理由を想像する事はできないだろうし、またこの気づきを文字や言葉で伝えるのも至難の業だ…。

理事雑感

(田頭副会長)

今回の総裁選には現行の総裁公選規程では過去最多となる9人が立候補し、9月27日(金)に党員投票・議員投票の開票がされ、高市 早苗 議員との決戦投票の結果、第28代自由民主党総裁に石破 茂 議員が選出されました。

石破新総裁は「国民を信じ、勇気と真心を持って真実を語り、この日本をもう一度、皆が笑顔で暮らせる安全で安心な国にするために、全身全霊を尽くしていく」と力強く決意表明されました。

皆さんも注視していると思いますが、「伝家の宝刀」解散総選挙は早い段階で行われるのでしょうか？実際に先週と本日の理事会において岡山県の衆議院議員の「緊急選挙対策会議」の開催と出席依頼があり協議をしました。

国民に信を問う選挙後、新総裁の決意表明通りの活躍を期待しております。

第61回理事会

令和6年10月10日(木)

会長挨拶 (要旨)

中国・四国歯科医師会連合会役員連絡協議会、令和6年度岡山県四師会懇談会お疲れ様でした。四師会ですけど私が行き始めた頃はもっと堅苦しい会議でしたが、回を重ねるごとに親交も深まり、ざっくばらんな会になってきた感じがします。

そして先ほど県庁の健康推進課と面会をしました。障害者歯科医療に関して前向きな意見をご提示いただいておりますが、我々の思いとは多少乖離があります。主体性をもって進めて参ります。

本日のトピックス

【本会】

- ・ 岡山県健康推進課と面会

障害者医療の進捗状況と今後の展望について協議。財政難と言いながらも前向きな姿勢が見られ、ハードルは高いがしっかり進めていきたい。

(小見山副会長)

- ・ 「本会と連盟のあり方」検討委員会

委員会の意見のとりまとめはほぼ終了し答申書の作成段階

- ・ 岡山県歯科医師会機構図 (案)

理事会で承認され事業内容、部会規則の修正を行い次回の代議員会に上程予定。

(南専務理事)

【総務部調査事業部会】

- ・ 経営実態調査は継続事業として大切だが、医院承継など会員意識調査に重点を置くべきでは。医療管理部との連携を図りながら検討。
- ・ 歯科衛生士自身に対するアンケートについても内容や実施方法を検討し実施したい。

(久門田理事)

取材を終えて

(広報部 委員 吉田和英)

他県の歯科医師会で活動している青年部会についてかなりの時間をかけて理事会で協議が行われた。主に会員数の多い大規模県の歯科医師会にあるもので本県では適合するか不明だが、若い会員の意見が会に反映されるということはいいことだと思う。

理事雑感

(常務理事 清水裕雄)

長い夏がようやく終わり、短い秋を迎えておりますが、学会シーズンで様々な研修会に参加されている会員も多数おられると思います。学術部では、秋季歯科医学大会、日歯生涯研修セミナー、各地区歯科医師会会員及びコデンタルスタッフ向けBLS/AED実習セミナー、解剖学ハンズオンセミナー等を毎月のように開催・予定しています。会報に同封しております研修会予定をご参照の上、興味のあるものをチェックしてみてください。何を始めるにも過ぎしやすい「～の秋」ではありますので、参加したことの無い県歯行事・研修会に是非足を運んでください。新たな発見や気づきがきっと得られるはずです。

ホームページインデックス

最近掲載された項目です

- ①医療管理部 最低賃金改定について（令和6年10月2日から）
- ②社会保険部 令和6年度診療報酬改定に係る院内掲示用ポスターとウェブサイトへの掲載について
- ③社会保険部 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）区分変更届出について
- ④社会保険部 10月検討委員会からのお知らせ
- ⑤研修会 11月29日（金）～第29回日本口腔顔面痛学会学術大会のご案内
- ⑥社会保険部 医療DX推進体制整備加算の届出記載例

Monthly Dental News Review (243)

2024年

▶ 9月12日(木)

東北大学 生体材料で歯周組織を再生

歯根露出にも対応可能か

生体材料(バイオマテリアル)を使うことで、天然歯根周りの骨と歯周組織の再生ができる。今後は、同材料を応用した歯周組織の再生治療につながる期待がかかる。

東北大学大学院歯学研究科の山内健介教授、松井桂子助教、鎌倉慎治東北大学名誉教授らのグループが解明した研究は、顎骨病変を摘出した際に、隣接する天然歯が骨の支持を失っていても、生体材料を埋め込むことで、歯根周りの硬組織(骨)と軟組織(歯根膜)が回復し、正常な状態で長期保存が可能となるもの。

これまで骨が欠損した部分に天然歯が隣在したときに見られる、再生した骨と歯との関係性については未確認だった。

この研究が活用されれば、歯周病の進行によって歯槽骨が吸収され、歯根が露出した場合にも歯周組織の再生治療ができるという。

▶ 9月18日(水)

専門医 「矯正」「保存」広告可能に

医療広告ガイドライン改正

医療広告ガイドラインが13日付で改正され、日本歯科専門医機構が認定する専門性資格として「矯正歯科」と「歯科保存」が広告可能となった。同日に厚生省が各所に通知した。

医療広告規制では、日本専門医機構が日本歯科専門医機構が認定する専門性について、広告できる事項に追加するとされており、6月20日に機構の理事会で矯正歯科専門医と歯科保存専門医の認定が行われていた。8月22日には、厚生省の第4回医療機能情報提供制度・医療広告等に関する分科会で医療広告ガイドラインの見直し案が了承され、事務手続きが終わり次第、改正するとされていた。

歯科で広告可能なのは、口腔外科、歯周病、歯科麻酔、小児歯科、歯科放射線、補綴歯科と合わせて計八つとなった。

▶ 9月19日(木)

歯科技工士

5年以内の
離職率27.9%

歯技協 会員技工所にアンケート

日本歯科技工所協会が会員歯科技工所に対して行った2023年度調査で、5年間の入社総数は1467人、5年以内の離職者は410人(離職率27.9%)だった。離職率は4年前の前回調査時27.8%とほぼ同じだったが、入社総数と離職者数は18%増えている。

インターネットなどでは、歯科技工士の入社5年以内の離職率は70%を超えているとの調査結果が報告されており、歯技協は同様の計算式を用いて、会員歯科技工所の実態を調査。19年度から23年度の5年間に、今年6月25日から7月31日まで、メール(調査票)やウェブアンケート

で行い、82社中64社(回収率78%)から回答を得た。なお、離職者は「会社を退職したもの」と定義している。

歯技協は、歯科技工士全体の離職率70%と比べると半分以下で、定着率72.1%との見方もできると分析。調査担当者で協会総務理事の北井正勝氏は、「実態を把握してこそ、次の対策や検証が可能となる。今後、歯科医院などに勤務している歯科技工士や協会会員以外の歯科技工所での離職率を把握することで、今後求められる歯科技工体制や、歯科技工士不足の歯止め対策につながる」とコメントした。

▶10月1日(火)

施設基準届出状況

口管強 1万4,177軒

医療DXは 1万3,788軒

2024年度診療報酬改定で、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所(か強診)から名称や施設基準が変更となった口腔管理体制強化加算(口管強)の8月1日時点の届出は1万4177施設で、直近6月時点の歯科診療所数6万6889施設に占める割合は21.3%となっている。

▶10月2日(水)



■歯科医院からロレックスなど3300万相当盗む 無職男を逮捕、金庫を軽自動車に乗せて逃走か(京都新聞/9月27日)

■虫歯になりにくいキャラメル、阪大歯学部生が開発…ネットで販売開始(読売新聞オンライン/9月27日)

■麻酔薬が不足 「供給を制限」メーカー通達 製造所の移転が原因(テレ朝news/9月27日)

■病気治療と口腔ケアは密接に関係がん患者の心もサポート 歯科衛生士の外山裕貴さん プロフェッショナル(産経新聞/9月29日)

■ただの口内炎だと思ってない?長期放置で進行し最悪の場合死亡も「口腔がん」に注意を(NBC長崎放送/9月29日)

10月の歯科界トピックス

10/10 12月から3,010円に金パラ告示価格 現在より35円引下げ

10/11 歯科医院選びで「親切な対応」3割強が重視、以下口コミ、清潔等

10/15 指摘されたくない体臭のトップ「口臭」全国20代~40代の男女300人の体臭アンケート

10/16 衆院選 歯科医師7人が立候補 技工メーカー社員や元技工士も

10/17 厚労省「歯科領域編」を提案 抗微生物薬適正使用の手引き改訂で

10/18 歯科診療所数は66,432軒(7月末時点)

厚労省施設動態調査 前月より58減少

10/21 初の内閣総理大臣表彰に2校 第88回全国学校歯科保健研究大会

10/22 ベースアップ評価料に病診格差 病院は約8割、診療所は24%、歯科診療所は21%

10/23 自民党の公約に「皆歯科健診」明記 山田議員が報告

10/24 歯科保健事業功労者58人と8団体に厚労大臣表彰

10/25 7割が医薬品の入手困難(日歯調べ) 院内処方歯科医療機関

第14回 社会保険部検討委員会報告

2024年9月7日(土) 16:00～ 本会会館 7F 702・703会議室

1. 報 告

- (1) 8月 新入会員 2名, 1機関
- (2) 令和6年度第1回審査委員・検討委員連絡協議会 8月17日(土) 18:00
- (3) 個別指導 8月22日(木) 14:00
- (4) 「改定後 地区講習会」 勝英 8月22日(木) 19:00 にしき園 河本副委員長, 高山検討委員
- (5) 学術部 明日から使える小児の口腔機能発達支援セミナー 8月24日(土) 19:30
- (6) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会 8月26日(月) 13:30 田頭 常務理事
- (7) 中国四国厚生局岡山事務所と面会 8月29日(木) 17:00 田頭常務理事, 後藤理事, 佐伯理事
- (8) 岡山県保険者協議会と面会 9月5日(木) 17:30 西岡会長, 田頭常務理事, 後藤理事, 佐伯理事
- (9) 社会保険部小委員会 9月6日(金) 20:00 「歯科訪問診療と介護保険」の冊子作成
- (10) 社保相談窓口報告
- (11) そ の 他

2. 協 議

- (1) 「検討委員会からのお知らせ」について
- (2) 「地区歯科医師会からの質問」について
- (3) 「歯科訪問診療と介護保険」の冊子作成について
- (4) 新入会員社保研修会について
- (5) そ の 他

～検討委員の独り言～

社保検討委員になり3年目になります。2回の診療報酬改定講習会を経験し、学ぶことで自身の診療にとって有益である3年だったと実感しております。今改定は内容が大きく複雑な部分もみられるため返戻されることもあると思いますが、正しく修正して頂き点数が下がることのないよう会員先生方により深くご理解頂けるよう努力していきたいと考えます。

駒井 正伸 (児島歯科医師会)

令和6年度 岡山県糖尿病医療連携医科歯科合同研修会

令和6年9月7日(土)に令和6年度岡山県糖尿病医療連携医科歯科合同研修会が、岡山県医師会、岡山県歯科医師会、岡山県糖尿病対策専門会議の共催で開催されました。今回は、医師会との初めての合同開催ということもあり、岡山県医師会館を主会場、岡山県歯科医師会館をサテライト会場とし、医師会から23名、歯科医師会から84名の参加がありました。

岡山県保健医療部健康推進課課長 北村幸治氏、岡山県医師会会長 松山正春先生、岡山県歯科医師会副会長 小見山信先生の挨拶の後、岡山大学名誉教授・特命教授 四方賢一先生が、講演Ⅰ「糖尿病の病態と治療～医科歯科連携の必要性～」と題し、糖尿病と歯周病との関連性やフレイルの観点から医科歯科連携の重要性、また岡山県糖尿病医療ネットワーク「おかやまDMネット」の取り組み等について講演されました。次に、岡山大学学術研究院医歯薬学域歯周病態学分野准教授 大森一弘先生が、講演Ⅱ「歯周病の病態と治療～慢性炎症としての歯周病が糖尿病の病態に及ぼす影響～」と題し、歯科の立場から歯周病の病態、全身疾患との関連、特に糖尿病患者に対する歯周病治療の役割等について講演されました。最後に、岡山大学病院糖尿病センター助教 和田嵩平先生が、講演Ⅲ「岡山県における糖尿病医科歯科連携の進め方について」と題し、岡山県の糖尿病の医療連携体制構築の「おかやまDMネット」の解説と、医科歯科連携ツールとしての岡山県医科歯科連携シート・糖尿病連携手帳・診療情報提供書・診療情報連携共有書ひな型の説明、医科から歯科、歯科から医科の具体的な連携の流れについて講演されました。

講演後、医師と歯科医師との意見交換があり、口腔を清潔に保つことによって誤嚥性肺炎の予防になることや、安定期に入って定期健診を受けている患者が健康を保っている等の意見がありました。

今回のような合同研修会を継続していければ、歯科医師と医師とで糖尿病の医療連携がますます身近になると感じました。

(委員長 寺地恭一)



スペシャルオリンピックス

令和6年9月29日(日)に岡山市障害者体育センターにおいて「スペシャルオリンピックス日本・岡山」が主催するイベントが行われました。当日はヘルシーアスリートプログラム「スペシャルスマイルズ」も同時に行われ、岡山県歯科医師会と岡山県歯科衛生士会ならびに岡山高等歯科衛生専門学院の学生も協力してアスリートの歯科健診とブラッシング指導を行いました。

「スペシャルオリンピックス」は知的障がいのある人たちに、日常的なスポーツ・トレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。岡山県でも2005年に岡山支部が設立され、継続的なスポーツ活動によるアスリートの健康や体力増進、スキルの向上を促進するとともに、多くの人たちとの交流を通じて彼らの社会性を育てています。

家族を含むイベント参加者110名のうち歯科健診受診者は34名でした。サポートをしている家族もこのようなイベントに積極的に参加しているだけあって健康については特に気を使っている様子が感じられ、アスリート自身もしっかりとブラッシングをしているようで口腔内の状態はほとんどの方は大変きれいでした。しかし、中には歯ブラシが上手く使えなかったり歯列不正等によりブラッシングが難しく歯肉炎を起こしている方もいて、歯科衛生士会によるブラッシング指導を受けていただきました。

歯・口の健康は全身の健康と密接に関係しており、さらにそれはアスリートにとってスポーツの成績向上にもつながってきます。この「スペシャルスマイルズ」による歯科健診がアスリートの活躍の一助となることと期待します。

(委員長 山本忠浩)



第35回 近畿・中国・四国口腔衛生学会

令和6年9月29日(日)に奈良県歯科医師会館において第35回近畿・中国・四国口腔衛生学会が、第27回近畿北陸歯科医療管理学会との併催で開催された。

大会長である奈良県歯科医師会会長 末瀬一彦先生による「デジタルデンティストリーの現状」という演題の基調講演がまず行われた。医療情報のデジタル化により医療情報の共有によって患者と医療従事者双方により良い環境を提供できること、また医療機器のデジタル化により、安全に効率的、安定的に高品質の医療が提供できるという内容であった。ポスター討論では奈良県歯科医師会や岡山大学など24の発表が行われた。

その後、幹事会事前打ち合わせ、幹事会・総会に参加し、幹事会事前打ち合わせ・幹事会においては幹事長の岡山大学予防歯科教授 江國大輔先生進行のもとで令和5年度決算及び令和6年度予算、今後の開催担当県歯科医師会・大学などの確認が行われた。

13時からは前厚労省歯科保健課課長 小椋正之先生による「医療DX～国の動向」など3つの特別公演が開催された。

(常務理事 黒木祐二)



医療管理ニュース Vol.97

ふるさと納税を活用して節税と地域貢献をしませんか？

ふるさと納税は、簡単な手続きを行うことで寄付額2,000円を超える部分が所得税や住民税から控除され、同時に地域貢献もできる制度です。

＜多種多様な返礼品＞

寄付をすると、全国各地の自治体からお礼の品が届きます。

- ・グルメ系…高級和牛、海鮮、フルーツ、お米、地酒やワインなど
- ・日用品・家電…タオルセット、高品質の調理器具、家電製品など
- ・体験型…ホテル宿泊券、温泉入浴券、ゴルフ場利用券、農業&漁業体験など
- ・美容・健康…スキンケア製品、フィットネス用品、健康食品など
- ・工芸品・アート…伝統工芸品、家具・インテリアなど
- ・応援寄付…被災地支援や応援したい自治体へ（返礼品なし）
- ・その他…ペット用品、アウトドア用品など

＜ふるさと納税の手続きは簡単＞

寄付はインターネット上の専用サイトを通じて簡単に行えます。サイト内で寄付先の自治体や返礼品を検索し、寄付額を設定して、クレジットカードや銀行振込で支払うだけでスムーズに進めることができます。

寄付後、自治体から寄付金受領証明書が送付されます。それを元に確定申告を行うことで、所得税と住民税の控除が適用されます。

以下にサイトのご紹介をします。

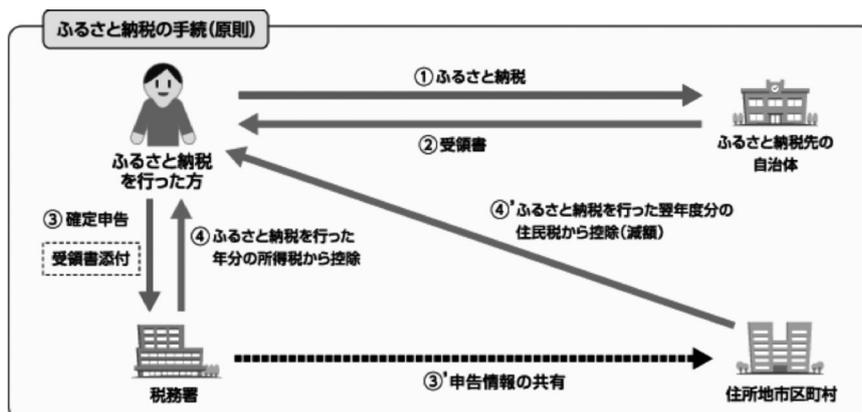
- ・ふるさとチョイス：日本最大級の納税サイト。取り扱い自治体と返礼品の数が豊富で、幅広い選択肢がある。カテゴリーやランキングで検索が簡単。
- ・さとふる：操作が簡単で初心者におすすめ。自治体ごとのランキングや返礼品の人気ランキングがあり、選びやすい。
- ・楽天ふるさと納税：楽天会員向けでポイントがたまるのが魅力。返礼品の選択肢も豊富で、普段から楽天市場を使っている方にとって使い易い。



詳しくは、税理士にご相談いただくか、左の二次元コードで総務省ふるさと納税のホームページをご参考ください。



(佐藤公磨)



令和6年度 レクリエーション大会 ご案内

ボウリング

日 時	令和7年1月19日(日)	10:00 集合	10:30 開始
場 所	フェアレーン岡山 岡山市北区清心町16-31 TEL 086-251-1111		
参加費	会員, 家族, 従業員 3,000円 参加費は診療報酬より引去りさせていただきます		
締 切	1月15日(水)		



同封のFAXシートまたはフォームにてお申込みください

ハンディキャップ設定の参考にするために平均スコアを記載してください

※不明な点は、担当者までご連絡ください。

担当：妹尾明彦 TEL 086-902-2077 / FAX 086-902-2088

年末年始の休館のお知らせ

令和6年12月29日(日) ~ 令和7年1月3日(金)

上記期間中、本会会館を休館させていただきます。

大変ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。

吉備歯科医師会

「日本 100 名城を巡る」

現在はお城めぐりがにわかに人気となっており、テレビ番組や雑誌などにも結構取り上げられ、ブームと化しております。日本人はとかくスタンプラリー系のモノに敏感であり、それに乗じて(?)日本100名城、さらに続日本100名城が認定されて、名城のスタンプ、更には神社仏閣の御朱印にちなんだ御城印なるものも多く販売されています。岡山県下には山城や砦、城館のようなものを含めると約1,200城あるといわれています。この中で頂点に立つ4つの100名城(岡山城、津山城、備中松山城、鬼ノ城)と1つの続100名城(備中高松城)が存在しますが、吉備歯科医師会エリアにはこのうち2城が含まれます。

・備中高松城

羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)による水攻めで有名なお城です。城の付近は低湿地帯でこれらが天然の堀を形成しており、一般のお城に見られるような高い石垣等はなく、沼の真ん中に位置しているような特殊なお城でした。攻めようにも脚がぬかるみにとられて一斉攻撃は不可能でした。この地を平定した毛利家の家臣 清水宗治が城主の際に織田信長の命で攻撃を試みた秀吉。当初は沼地に苦戦しますが、逆に水で守られている城ならば水で攻撃しようと城の周囲に高い堤防を築き(現在のJR吉備線にほぼ近い)足守川の水を引き入れ城を冠水状態に陥れるという水攻めを行います。当時の軍師だった黒田官兵衛による奇策とも言われています。兵糧攻めの末、遂に清水宗治は切腹を条件に城を明け渡し戦は終結します。秀吉はこの後、本能寺の変の首謀者明智光秀を討ち天下取りへの歩を進めていくことになります。



現在は本丸跡に清水宗治の首塚がひっそりと佇んでいます。近くの二の丸跡にはスタンプ設置の資料館(10:00~15:00, 月曜日休館)がリニューアルされていてわかりやすく説明してあります。また周辺には堤防の一部や秀吉本陣跡等の遺構も多く残り、ゆっくり歩いて散策可能です。お土産には清鏡庵の宗治饅頭を是非! 歩いた疲れも吹っ飛びます。なお6月頃には本丸周囲の沼地には宗治蓮が可憐に咲き誇り見応えあります。

・鬼ノ城

いにしえから吉備津彦命による温羅退治の伝承地として知られています。こちらは戦国武将が群雄割拠していた時代より遥かに遡り、大化の改新で有名な中大兄皇子(後の天智天皇)が政権を担っていた頃のお城です。史書に記載が全くなく謎の城とされていますが、現在では663年朝鮮半島で起こった白村江の戦いで倭国(日本)が唐・新羅連合軍に大敗したことによる報復に備えて大和朝廷を守るべく西日本各地に築城されたものと考えられています。天守閣とかの建造物もなく、標高397mの鬼城山山頂部外周を石塁、土塁による城壁が鉢巻状に2.8kmに渡って巡らされています。発掘調査により城周囲には4か所の城門、角楼(見張り台?), 6か所の水門、更に城内には建物跡や鍛冶遺構等が確認されており、山城としてはかなり完成度が高い城であったとされています。その後は山岳仏教としての役割も担っていたことも出土品から確認されています。



麓にある砂川キャンプ場の横を通って細い急勾配の山道を我慢して登ること3km、道が開けたところで駐車場を完備したビジターセンター(9:00~17:00, 月曜日休館)に到着します。スタンプも設置されています。ここから先は徒歩になります。歩きやすい靴をご用意ください。麓から見上げた際に見える復元建物の西門までは約500m、遠くは瀬戸内海から金甲山、備中高松城なんかも広く見渡せるほどの絶景パノラマです! 散策コースは鉢巻状の城壁に沿って整備されています。途中には絶壁部に築かれた石垣に魅了されますが少々道は険しくなります。また内部の建物跡への道もあります。

性格は全く異なる2城ですが、それぞれ特徴があって趣深いものです。各々の体力に合わせて名城巡りされてはいかがでしょうか? 吉備歯科医師会エリアではこの他にも神社仏閣、古墳群等歴史ロマンを味わうことができます。是非お越しになって、ロマンを直に肌で触れてみてください。お待ち申し上げます。

(モニター 亀山達弘)

津山市歯科医師会

令和6年度支部旅行（神戸，鳴門）

「支部旅行」，なんと楽しい響きでしょうか。支部ではなくなりましたが，この名称のままで報告させていただきます（笑）

津山歯科医師会は10月9日～10日支部旅行を行いました。この前の支部旅行は何年前だったか忘れるほどでしたが猛暑も少し落ち着いた晴天のもとで久しぶりの一泊旅行を楽しみました。

津山歯科医療センターを出発して神戸に向かいました。神戸までの車中では早々と出来上がった先生もおられて楽しさ満開です。

神戸ハーバーランドに到着しTHE KOBE CRUISE「コンチェルト」で神戸港のクルージングを楽しみながら鉄板焼きの昼食を取りました。3センチはありそうなステーキはとても美味しかったです。

その後「神戸水族館アトア」を見学してホテルに向かいました。

宿泊は「オリエンタルホテル神戸」，チェックインして夕食会場に向かいました。ホテルから徒歩5分ほどで到着，北京料理「第一楼」で超豪華中華料理を堪能しました。

質，量ともに大満足の夕食でした。

翌日は，ゴルフ組と観光組に分かれてホテルを出発。

ゴルフ組は六甲国際ゴルフ倶楽部で晴天のもとプレーを楽しみました。

観光組は明石海峡大橋を渡り淡路島を通り淡路福良港より「うずしおクルーズ」を体験しました。10時10分発の船は渦潮発生率が二重丸と表示されていたただけあって大鳴門橋の下を通過するときには奥村土牛の日本画のような大きな渦潮を見学することができました。

昼食は洲本由良港「新島水産」で海の幸を堪能しました。もどり鰹が絶品とのことで急遽イタリアンから変更したのですが大当たりでした。刺身，貝焼，鰹すき，タコ飯と食べきれないほどでした。最近人気の店らしく，木曜日にもかかわらずほぼ満席でした。

ゴルフ組，観光組とも大いに楽しんで合流して津山への帰途につきました。

晴天にも恵まれ，食事也大満足で，支部旅行の楽しさを再確認した有意義な二日間でした。

（モニター 藤田元英）



玉島歯科医師会

支部旅行

令和6年9月14日(土)～16日(月・祝)の二泊三日で玉島歯科医師会支部旅行に行ってきました。当会では、2年に一回、支部旅行を行なっていましたが、台風や新型コロナの蔓延により、2016年を最後に支部旅行を開催することが出来ませんでした。そのうっ憤を晴らすごとく、今回は北海道旅行を計画し、行ってまいりました。14日の昼に岡山空港を出発し、一路北海道新千歳空港へ。まずは電車で北広島市に移動し、日本ハムファイターズ本拠地の“エスコンフィールド北海道”のスタジアムツアーへ。ガイドさんの案内で球場内を見学。グラウンドはもちろん、選手のロッカールームや現在新庄監督が使用している監督室、ミーティングルームを見ることが出来ました。



翌日は朝から市場へ行き、海産物のお土産を皆で爆買いしました。その後、ニッカウキスキー余市工場にてニッカミュージアムの見学。ニッカウキスキーの発祥の歴史的展示物の見学や試飲などを行いました。次に小樽へ向かい、そこでも“ルタオ”でお土産爆買い。運河クルーズ船に乗り込み、運河の成り立ちなどを聞かせてもらいました。その後札幌に移動し、大倉山スキージャンプ場班とグルメ班に分かれて行動。大倉山班はかなり寒かったようですが、リフトに乗ってジャンプ台を見学。ジャンプ台から飛ぶ小林陵侑選手の練習が見えたそうです。グルメ班は札幌ラーメンツアーへ。地元で有名な味噌ラーメンを堪能しました。



最終日は空港へ行く前に支笏湖へ。クルーズ船に乗り、大自然を満喫しました。北海道での食事は寿司や海鮮料理・ジンギスカン・ラーメンなどを、みんな満腹になるまで堪能し、「旅行メンバー全員が体重増加したのではないかな？」と思います。

かなりタイトなスケジュールだったのですが、若干の降雨はあったものの、ほぼ天候にも恵まれ、すべてスケジュール通りに観光することが出来、大満足の支部旅行でした。

(モニター 柴田豊文)

赤磐歯科医師会**親睦旅行**

去る10月6日(日)、赤磐歯科医師会の親睦旅行にて村上海賊ゆかりの地を巡る旅に出掛けました。

まず、最初に訪れたのは今治市の村上海賊ミュージアム。

日本遺産に認定された村上海賊のストーリーを見て回りました。館の入り口には復元された小早船や小説『村上海賊の娘』の本屋大賞受賞を記念した石碑などが展示されています。館内には村上海賊に関する歴史や文化の貴重な資料が数多くあり、当時の雰囲気を感じることができました。

昼食は海宿「千年松」で新鮮な海の幸を使った料理に舌鼓を打ち、美しい瀬戸内海を一望できる絶景の露天風呂に浸かり日頃の疲れを癒しました。この「満天の湯」という名の露天風呂は来島海峡の海水を汲み上げ沸かした塩湯で、お湯の肌触りがとても滑らかで湯冷めしにくく、体の芯まで暖まります。

お腹も満たされてところで、午後からは道の駅「多々羅しまなみ公園」。

地元の特産品やお土産を購入し、尾道市の平山郁夫美術館へ向かいました。平山郁夫はシルクロードや仏教の幻想的な壁画で有名な日本画家であり、彼独特の色彩と風景描写を楽しむことができました。この日はたまたま「三国志と中国」という企画展が催されていて、三国志の話題で盛り上がりました。

(モニター 佐々木真一)



第34回 全日本歯科医師剣道優勝大会（団体戦） 第6回全日本歯科医師剣道選手権大会（個人戦）結果報告



上記大会が令和6年8月4日(日)千葉県松戸市運動公園体育館におきまして17チーム約90名参加の下開催されました。県歯会員からは秋田和俊 教士七段（鶴見大 大将），石津裕識 六段（昭和大 副将）雀部研一 錬士六段（明海大 次鋒）が個人戦，団体戦に出場しました。個人戦は四段以下の部，五，六段の部，七段（八段含む）の部の三部門に分かれ開催され秋田和俊（岡山市），石津裕識（都窪）はベスト8で敗退しましたが雀部研一（浅口）は決勝まで進出し見事六段の部で準優勝に入賞しました。

団体戦においては，鶴見大は予選トーナメントで敗退しましたが昭和大と明海大は準々決勝で対戦し昭和大が勝利しました。その後，準決勝で日本大学松戸歯学部，決勝で日本歯科大学新潟生命歯学部に勝利し，優勝しました。これも普段一緒に稽古させていただいている高木哲弘（吉備），内田欣臣（岡山市），秋田和俊（岡山市）諸先生方のおかげと感謝申し上げます。そして幼少期に「ソフトボールを習いたい」と父に話すも，指導者の一人だった父に剣道を勧められ，勝つことが出来ず「辞めたい」と話すも辞めることを許さず，ただ私自身が興味を持つまで一度も「勝て」と言わず待ってくれた本年9月14日に他界した父に，生前伝えることができなかった“ありがたい気持ち”を伝えたいと思います。

来年も8月に東京に於いて鶴見大学が主管で開催される予定です。

（石津裕識）



「50の手習」

岡山市歯科医師会 井上 栄徳

前回このリレー随筆を書かせて頂いたのが、まだ開業当初だったことを思い出します。早いものであれから15年が過ぎました。スタッフの物心両面の満足、地域住民の健康増進に寄与することを理念に今まで頑張ってきました。これからも10年、20年と初心を忘れず頑張っていこうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今回は何を書こうかと考えましたが、少し前に始めた趣味について書かせて頂こうと思います。

今年で50歳を迎え、人生も折り返し地点を少し過ぎてしまいましたが、この歳になって始めた趣味がゴルフです。老後のスポーツに丁度いいのではと思い、軽い気持ちで始めたゴルフでしたが、なかなかどうしてすごく楽しいではありませんか。初めてラウンドしたのは1年半ほど前になりますがスコアは140ぐらいでした。当然ですがゴルフカートに乗ることはほとんどなく、草むらを這いずり回り、なんとか終えた18ホールでした。しかしながら、早起きをして空が明るくなり始める頃のゴルフ場までのドライブや、1番ホールのティーイングエリアに立った時のなんとも言えない爽快感は、とても気持ちのよいものでした。それからはYouTubeなどで学習し、最近では100前後で回れるようになりました。

人生はよくマラソンに例えられます。その意味は、自分のペースでコツコツと努力することが大切であるということのようです。イエローハット創業者の鍵山秀三郎さんが言っていましたが「成功のコツは2つある、それはコツコツだ・・・」と。少し話がそれましたが、ゴルフも同じことがいえると思



ます。第1打、ドライバーが会心のあたりでフェアウェイど真ん中におけたとしても、そこから欲をかいったり、調子に乗って2打目を打っているとミスすることがよくあります。調子がいい時ほど気を引き締めないといけないのはまさに人生の教訓そのものです。また、OBになりそうな打球だったとしても、木に当たっていいところまで跳ね返ってくる場合があります。この一見するとラッキーと思える現象も、「日頃から徳を積んでいると起こる確率が上がるのだ」と私は信じています。私は毎朝、駐車場から医院までの道(30m程ですが)でゴミが落ちていたら拾っています。

夏のラウンドは厳しかったですが、これからはいい季節になります。食欲の秋、読書の秋、ゴルフの秋、いろいろと忙しい秋になりそうです。

次回は 西木戸 博史 先生（倉敷歯科医師会）をご紹介します。

第44回 戴帽式



残暑の厳しい令和6年9月18日(水)岡山県歯科医師会館もも丸ホールにて岡山高等歯科衛生専門学校66期生36名に対して第44回戴帽式が執り行われました。本来であれば全員揃って挙行したいところではありましたが、体調不良で参加が叶わなかった学生が一名おり、その点が残念でした。

木村学院長からの式辞では「歯科衛生士となるために学ばねばならないカリキュラムは年々増加しており、それに伴い歯科衛生士の社会的役割は大きくなっています。そして臨床実習においても、仕事の厳しさに圧倒されることもあるかもしれませんが、その様な時は一人で悩まず学院の先生に相談し、臨床実習をやりきってもらいたい」との言葉がありました。

そしてその言葉に答えるかのように学生代表からは「素直な気持ちを忘れず、人間性を磨き、感謝の気持ちを忘れず努力します」との誓いの言葉があり、頼もしく感じました。

出席された家族や我々教職員の前で、真っ白なハイジニストキャップを身に着けた学生たちの「ここまで頑張ってきた」という自負とこれから始まる臨床実習への緊張が入り混じった表情が印象的な戴帽式でした。

実習医院をお引き受けいただきました先生方におかれましては、学生達に至らない部分もありますが、ぜひ温かく見守っていただき、ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

(二学年担任講師 森田巨樹)

新入会の正会員の先生を紹介するコーナー

新人です…よろしくお願ひします。

もりじま やすし
森島 康



笠岡・小田歯科医師会
Y's歯科クリニック
〒714-0085 笠岡市四番町3-18
TEL 0865-60-0987 FAX 0865-60-0444
生年月日 昭和55年 7月14日 (44歳)
出身大学 明海大学歯学部

経歴・職歴 2009年 3月 明海大学歯学部 卒業
2010年 3月 明海大学歯学部附属明海大学病院 で臨床研修修了
4月 医療法人彩美会森島歯科医院 勤務
2013年 7月 勉強のため大阪へ、以降複数の一般歯科クリニック 勤務
2021年 1月 医療法人鶴栄会ブランデンタルクリニック 勤務
2024年10月 Y's歯科クリニック 開院
現在に至る
入会日 令和6年7月16日
趣味 ゴルフ, ダイビング
抱負 開業医としては遅いスタートになりますが、これから地域医療に貢献できるように全力で頑張っていきたいと思ひます。
諸先生方におかれましてはご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。



訃 報



故 吉崎 文彦 先生
享年100才 (令和6年9月19日 ご逝去)
岡山市東区瀬戸町瀬戸194-1

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会員異動

9月末日現在 正会員数1,039名

◎新入会員（詳細は新入会員の紹介で）

森島 康 正会員 笠岡・小田 P52

◎準会員の入会

佐能 彰 準会員 岡山市 P59

〒700-0985 岡山市北区厚生町三丁目8-35

社会医療法人 光生病院

TEL 086-222-6806 FAX 086-225-9506

◎診療所の名称変更

山崎 由衛 正会員 岡山市 P22

[新] 医療法人心和会 岡山おとな子ども歯科矯正
歯科 Welcome Dental Clinic

◎死亡

吉崎 文彦 正会員 赤 磐 P46

（P = 会員名簿のページ）

11月の収納金

1. 本 会

(1) 診療報酬割会費

（社保、国保8月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を控除）

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割、均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料（令和5年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

(1) 年金保険料（12月分）

(2) 福祉共済保険料（12月分）

(3) 会費（後期分）	正会員 第1種	19,000円
	正会員 第2種	9,500円

9月 会の動き

1日	ODAシミュレーションコース		BCP打合せ
2日	マイクロメイト岡山（株）と面会 広報部編集委員会（集稿） スポーツ歯科サポート委員会	13日	社会保険部小委員会 学院 臨床実習医院講師連絡協議会
3日	「本会と連盟のあり方」検討委員会 社会保険部小委員会	17日	県民公開講座打合せ 支払基金 審査運営協議会
4日	国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合 岡山県支部運営委員会	18日	第39回中規模県歯科医師会連合会 医療管理部 正・副委員長会 学院 第44回戴帽式
5日	岡山県歯科保健図画ポスターコンクール審査会 スペシャルオリンピックス打合せ 山陽新聞社と打合せ 国保連合会と面会 理事会	19日	岡山県疾病感染症対策課と面会 理事会 広報部編集委員会（二校）
6日	BCP打合せ 社会保険部小委員会	20日	学院 9月職員会議
7日	岡山県医師会「能登半島地震JMATおかやま医療救急活動報告会（「救急の日」講演会） 審査・検討小委員会 社会保険部検討委員会 令和6年度岡山県糖尿病医療連携医科歯科合同研修会 学院 入試説明会	21日	岡山救急医療研究会2024年度幹事会 岡山救急医療研究会第25回学術集会 30・40歳代限定企画「県歯役員との懇談会」
8日	甲野峰基 先生 旭日双光章受章記念祝賀会	24日	社会保険部研修会
9日	公衆衛生部正・副委員長会 DH実務者会議（Web）	25日	中国地方社会保険医療協議会岡山部会 広報部編集委員会（終校） 学術部正・副委員長会
10日	総務部調査事業部会・情報管理部小委員会（Web） 学院 9月教務会議，入試委員会 国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合連合会 第3回調査委員会	26日	令和6年度岡山県保健衛生功労者の知事表彰表彰式 本会学院連絡協議会 岡山県学校保健会と面会 理事会
11日	広報部編集委員会（初校） 学術部正・副委員長会（Web）		BCP打合せ 倉敷歯科医師会「救急蘇生講習会」
12日	理事会	27日	令和6年度社会保険指導者研修会
		28日	第10回 県内同窓会・校友会連絡協議会
		29日	第35回 近畿・中国・四国口腔衛生学会総会，学術大会 スペシャルオリンピックス歯科検診 日歯 生涯研修セミナー サテライト
		30日	岡山健康づくりアワード2024 女性活動支援部会

11月・12月 本会の予定

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 11月1日 | 第45回全国歯科保健大会会長招宴
広報部編集委員会（集稿） | 16日 | 令和6年度三大学同窓会（朝日大学・
明海大学・大阪歯科大学）懇話会 |
| 2日 | 第45回全国歯科保健大会
中国地域歯科医師会連合会親睦野球大
会監督会議，前夜祭（広島） | 18日 | 支払基金 審査運営協議会 |
| 3日 | 中国地域歯科医師会連合会親睦野球大
会（広島総合グラウンド野球場） | 20日 | 医療管理部長・副委員長会
全国歯科医師国民健康保険組合 第4
回理事会（Web） |
| 5日 | 女性活動支援部会 | 21日 | 「すごいよ！みんなの歯2」贈呈式
理事会
新入会員セミナー |
| 6日 | 令和6年度岡山県医療的ケア児等コー
ディネーター・支援者養成研修
国保組合 全国歯科医師国民健康保険
組合 第5回三役会（Web併用）
国保組合 全国歯科医師国民健康保険
組合 第6回常務会（Web併用） | 22日 | 国保組合 職員慰労会 |
| 7日 | 第74回 全国学校歯科医協議会（Web）
理事会 | 23日 | 令和6年度第1回競技間交流事業
令和6年度公益財団法人日本スポーツ
協会公認スポーツデンティスト養成
講習会スポーツ歯科医学Ⅱ（～24
日） |
| 8日 | 広報部編集委員会（初校） | 24日 | 岡山県委託事業死生学とアドバンスケ
アプランニングを取り入れた要介護
高齢者の尊厳を最後まで守る多職種
連携口腔栄養関連サービスの推進事
業公開セミナー（第16回） |
| 9日 | 歯科保健診療学習会
審査・検討小委員会
社会保険部検討委員会
学院 一般推薦入試 | 25日 | 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
令和6年度岡山県在宅医療推進協議会 |
| 10日 | 厚生部文化事業部会レクリエーション
「ゴルフ」「テニス」
第15回中国・四国地方HIV陽性者の歯
科診療体制構築のための研究会議
「いい歯の日」県民公開講座 | 26日 | 広報部編集委員会（終校） |
| 11日 | 「本会と連盟のあり方」検討委員会 | 28日 | 赤磐歯科医師会「救急蘇生講習会」
理事会 |
| 12日 | 総務部調査事業部会委員会・情報管理
部会（Web） | 29日 | 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会
熊本県歯科医師会，鹿児島県歯科医師
会と懇親会 |
| 13日 | 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議
会 | 30日 | 令和6年度「九州」「中国・四国」地
区歯科医師会役員連絡協議会（米子） |
| 14日 | 令和6年度広島国税局管内税務指導者
協議会
理事会
広報部編集委員会（二校） | 12月2日 | 広報部編集委員会（集稿） |
| | | 5日 | 理事会 |
| | | 7日 | 大阪歯科大学歯学部同窓会 岡山県同
窓会「社保講習会」 |

8日	令和6年度災害歯科保健医療アドバ ンス研修会	18日	広報部編集委員会（二校） 医療管理部正・副委員長会
11日	広報部編集委員会（初校） 玉島歯科医師会「救急蘇生講習会」	19日	理事会
12日	理事会	23日	広報部編集委員会（終校）
14日	地区・本会連絡協議会	26日	理事会

11月・12月 地区歯科医師会の予定

11月1日	児島	理事会	28日	倉敷	お口の健康アップ スキルア ップセミナー（第3回/全3 回） 障がい者歯科コンサルテーシ ョン
2日	岡山市	学術臨床放談会		赤磐	救急蘇生講習会
7日	津山	定例会、臨時総会	29日	倉敷	定例理事会
8日	岡山市	理事会	30日	都窪	ボウリング大会
	玉島	理事会		赤磐	移動役員会兼忘年会
10日	岡山市	技工学院第二次入試	12月4日	岡山市	忘年会
	玉島	たましま歯とお口の健康フェ ア	5日	岡山市	四役会
13日	玉野市	理事会		津山	定例会
	瀬戸内市	例会		赤磐	社保講習会
14日	倉敷	お口の健康アップ スキルア ップセミナー（第1回/全3 回） 倉歯親睦ゴルフ大会	8日	岡山市	技工学院第三次入試
15日	都窪	理事会	9日	岡山市	理事会
16日	倉敷	倉歯全部署合同委員会	10日	児島	理事会
17日	岡山市	歯ッピーフェア2024		真庭	忘年理事会
	児島	お口の健康フェア2024歯ッピ ータウンin児島	11日	津山	理事会忘年会
	勝英	ランチプロジェクト（美作 大原地区）		玉島	救急蘇生講習会
19日	真庭	11月例会		玉野市	理事会
22日	岡山市	学校歯科医部会講習会	13日	玉島	理事会
23日	吉備	親睦旅行（熊本方面 ～ 24 日）	15日	倉敷	令和6年度スタッフセミナー
26日	岡山市	理事会	19日	勝英	例会
	津山	理事会	20日	岡山市	理事会
				倉敷	定例理事会
			21日	都窪	忘年会
				吉備	移動理事会

* はこちら編集室 *

「七五三」

粕 拓郎 七五三は、11月15日に行われる日本の伝統行事で、3歳、5歳、7歳の子供の成長
山 を祝います。3歳は男女ともに髪を伸ばし始める「髪置き」、5歳は男の子が初めて袴を着る
「袴着」、7歳は女の子が帯を締める「帯解き」の儀式に由来します。この日、子供たちは和装
を身にまとい神社にお参りし、健やかな成長を祈ります。千歳飴を持たせ、長寿と健康を願う
風習もあります。家族にとって大切な節目の行事です。

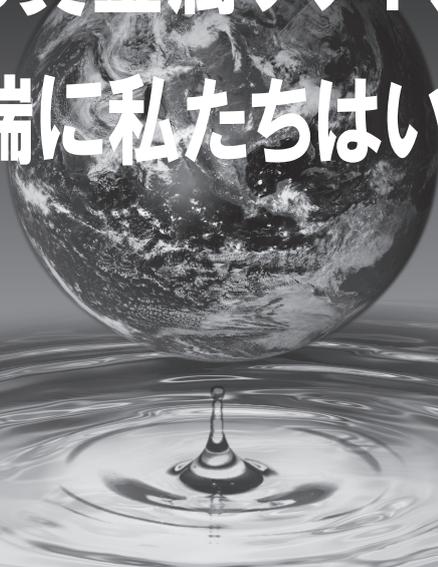
昨年、長男の七五三で参拝した際に同じように着物や袴を着た同年代の子達が集まっている
のを見て、華やかで、日頃意識をしていない行事の良さに気がつき、日本の伝統行事について
改めて意味などを調べてみるようになりました。

子供が生まれてからは、子どもの健康のみならず、自分自身の健康についても考えるように
なりました。自分の子供達と共に家族皆健康で過ごしたいと思います。

■協賛 中国歯科用品商協同組合岡山県支部

(有) 飯 田 歯 科 商 店	(有) イ ワ サ キ 歯 材
(同) オ プ テ イ	(有) 吉 川 歯 科 商 店
ク ロ ズ ミ	(有) 三 和 歯 科 材 料
(有) 志 茂 歯 科 材 料 店	(株) ト ミ ヤ 岡山支店
ナカヤマデンタルオフィス	(株) 三 宅 歯 科 商 店
三宅歯科商店東店	(株) リ ン ケ ー ジ 藤 波

いつも貴金属リサイクルの 最先端に私たちはいます。



歯科材リサイクル

歯科医院・技工所様から発生する歯科材スクラップを受託精製回収及び買取致します。

ジュエリー買取

貴金属精製グループだからここどこよりも高値買取致します。

純金積立(ゴールドクラブ)

横浜金属ゴールドクラブで
純金積立をしませんか？
(横浜金属株式会社運用)



- 一般社団法人 日本経済団体連合会会員(横浜金属株)
- 一般社団法人 日本金地金流通協会正会員(横浜金属株)
- L.M.E(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 株大阪取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 株大阪取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本産業規格認証取得工場(銀地金)
- ISO9001 認証登録(横浜金属株)
- ISO14001 認証登録

(横浜金属商事㈱環境リサイクル部門仙台事業所)



YOKOHAMA METAL CO.,LTD.

横浜金属商事株式会社

広島支店/〒738-0022 広島県廿日市市木材港南9-26
事業本部 /〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 3656-4
Tel:042-774-5481 Fax:042-773-4775
本社・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌(営)・北陸(営)・四国(営)

☎ **0120-16-4580**



<https://yk-metal.com>

横浜金属グループは貴金属リサイクルを通じて地球環境の保全に貢献しています。

株式会社 マルミ 歯科商店

高知本社	〒780-0833 高知市南はりまや町2-16-3	TEL:088-883-2201 FAX:088-883-4711
徳島支店	〒770-0846 徳島市南内町1-43	TEL:088-622-0816 FAX:088-623-5304
岡山支店	〒700-0808 岡山市北区大和町2-3-48	TEL:086-225-4378 FAX:086-222-0383
大阪支店	〒564-0051 吹田市豊津町15-27	TEL:06-6380-3831 FAX:06-6380-3775
香川営業所	〒760-0078 高松市今里町1-22-9	TEL:087-842-1839 FAX:087-842-1838
大阪南営業所	〒594-0023 和泉市伯太町2-2-3	TEL:0725-58-7254 FAX:0725-58-7255



SINCE 1943

三井住友海上は、持続可能な社会の実現に取り組みます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsで 人の暮らしを守る

防災・減災や安全なまちづくりに貢献

防災・減災や災害発生時における支援ツール

スマ保災害時ナビ



防災情報をリアルタイムにプッシュ通知し、
安心・安全な避難行動をサポートする多言語対応アプリ



地図やカメラで
避難所までのルートを案内



地図上にハザードマップを表示し
安全なルートを確認

防災・減災情報

防災・減災の豆知識や交通安全のセルフ診断等、イラストで楽しく学べる各種コンテンツをご覧ください。



ドライブレコーダーによる 安心・安全なまちづくり

自動車保険×専用ドライブレコーダー



事故の危険性が高い場所を通知



HELPNET*と連携した通報機能による
警察・消防への出動要請

*HELPNETとは、株式会社日本緊急通報サービス社が提供する「緊急通報サービス」です。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会*をめざします。
*外部環境にしなやかに対応する、持続可能な社会



令和6年11月1日発行(毎月1回1日発行)
昭和42年4月3日 第三種郵便物認可

岡歯会報

11月号

通巻第九三四号

定価一〇〇円

発行人 西岡 宏樹

発行所

岡山市北区石関町一丁目五番(購読料は年会費に含まれる)

